

第 10 回 子どもの心の診療医の養成に関する検討会資料(日本小児科学会)

1. 第 110 回 日本小児科学会学術集会におけるシンポジウム

「子どもの心の診療における小児科医の役割」

座長 柳澤正義(母子愛育会日本子ども家庭総合研究所)
別所文雄(杏林大学小児科教授、日本小児科学会)

シンポジスト

- 1) 富田和巳 (日本子ども家庭総合研究所所長、小児心身医学会)
 - 2) 宮本信也 (筑波大学大学院人間総合科学研究科、小児精神神経学会)
 - 3) 神山 潤 (東京北社会保険病院副院長。小児神経学会)
 - 4) 内海裕美 (吉村小児科、小児科医会)
 - 5) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課
-

2. 今後の計画

(1) 一般小児科医のためのガイドラインの作成:

子どもの心の問題を見逃さないために(仮題)

- (i) 趣旨: どこかおかしいといって紹介されてきた子どもを、身体的検査の結果異常なしといって送り返すことがないようにすること。疾患毎のマニュアル以前の段階での、症状、おかしい言動などに基づく診療の進め方のガイドライン。身体疾患と心の問題との見極め方。
- (ii) 心の問題の「可能性」が生じたときの対応方法、心の問題の専門医のリストなど。

(2) 心の問題に対して関心を有する一般小児科医のためのマニュアルの作成:

分科会での作業との協力